

6. 事業内容	<p>(イ) お産センターの建設</p> <ol style="list-style-type: none"> ① お産センターの建設 (6 棟) ② お産センターに必要な機材・設備の提供 ③ 郡病院へのワクチン保存用のソーラーパネルの提供 <p>(ロ) 公共保健機関のキャパシティビルディング</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 郡リプロダクティブヘルスケア委員会の機能強化(ミーティング実施の促進) ② VDC レベル保健医療施設マネジメント委員会への研修 <p>(ハ) 望まない妊娠のリスク軽減・出産介助スキル向上</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 医療従事者へのインプラント研修 ② 出産介助者 (SBA) への出産介助研修 <p>本事業申請時は研修受講者を 6 名としていたが予算内で受講生の人数を 12 名まで増やせることが判明したため、初年度の途中で変更申請書を提出し、受講人数を 6 名から 12 名に増やした。3 年次も引き続き、12 名の出産介助に対して出産介助研修を実施する。</p> <p>(ニ) 家族計画の普及研修・啓発活動 (申請時:「出産準備キット使用方法研修の実施」)</p> <p>申請時に予定していた「出産準備キット使用方法研修」はネパール政府によってほぼ完了しつつあり、ニーズは収束している。現在のネパール政府は家族計画の普及に力を入れており、2015 年までに避妊普及率 (CPR) を 67%に向上させるという目標を掲げている。しかしジャジャルコット郡では 2012 年現在で避妊普及率は 26%に留まっており、特に IUD やインプラントなど、長期にわたって効果を発揮する避妊具の使用率が低い。</p> <p>ネパール保健・人口省が管轄する Family Health division は、各医療施設は少なくとも 5 種類の避妊方法を揃えなければならないと定めているが、ジャジャルコットを含む西部の 5 郡ではこの条件を満たす医療施設が全くない。同省は Nepal Health Sector Program というプログラムの第 2 フェーズにおいて、2015 年までにジャジャルコット郡内の最低 7 つの医療施設で 5 種類の避妊法を提供できるようにするとの目標を定めている。</p> <p>家族計画の普及・啓発活動を行うことで、以下のことが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 望まない妊娠を減らし、危険な中絶による妊産婦死亡率を改善させることができる 2. ネパールの村落部では、各妊娠の間に適切な期間を設けないことにより子宮脱が多発している。家族計画を適切に行うことで母体への負担を減らし、妊婦の健康状態の改善につなげられる 3. 村落部ではいまだに若年結婚が慣習的に行われており、若い女性
---------	--

	<p>の妊娠に伴う死亡率が高い。家族計画を普及させることで母体への負荷が強い早期の妊娠を防ぐことができる</p> <p>本研修の受講人数はジャジャルコット郡保健事務所スタッフ 25 名、郡リプロダクティブヘルス委員会メンバー 25 名、簡易保健所スタッフ 3 名×30VDC=90 名、女性コミュニティボランティア、及び保健医療施設管理委員会メンバー 22 名×30VDC=660 名の合計 800 名である。</p> <p>(ホ) マスキャンペン</p> <p>① 家族計画についてのラジオ放送と国際デーイベントの実施 (申請時:「ラジオ放送、国際デーイベント実施、ストリートドラマ、女性ヘルスコミュニティボランティアのベストプラクティス賞」)</p> <p>家族計画に関する正しい知識を普及させるためには幅広い層に対し情報を提供する必要がある。ラジオ放送を通じて母子保健や家族計画の重要性を伝えるとともに、同テーマに関するイベントを開催し、その重要性を住民全体に啓発する。</p> <p>ラジオはジャジャルコット郡では北部を除く 30VDC 中 18VDC で聞くことができ (District Profile of Nepal/2008 より)、多くの住民に情報を伝えることができる。国際イベントデーではジャジャルコット郡保健事務所と協力し、家族計画を普及させるためのストリートドラマなどを行う予定である。</p>
<p>7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など</p>	<p>① これまでの事業における成果</p> <p>1 期目の事業地であるダイレク郡では 6 棟のお産センターを完成させ、2013 年 2 月下旬～3 月上旬に郡保険事務局への贈呈を終えた。現在これらのお産センターでは毎月平均で 50 件のお産が取られている。お産センター建設終了から 10 か月が経った現在、これらの VDC ではお産センター建設前に比べてお産件数自体が増えつつある傾向である。新しいお産センターはお産に加え、産前産後の妊産婦検診や乳幼児・新生児検診にも使用されている。お産に来る妊産婦は、お産センターを建設した VDC はもちろんのこと、近隣の VDC から来院している。備品に関しては、通常分娩時に使用するものから、難しい分娩時に使うもの (吸引器や酸素濃縮器など) を提供した。これらの機器は有効に活用されている。</p> <p>2 期目の事業地であるカリコット郡では 5 つの VDC (村落開発区域) においてお産センターの建設を行なっている。2013 年 11 月末現在、最も作業が進んでいる VDC では屋根の建設と 1 回目の塗装を終え、内装作業を行なっている。他 2 ヶ所の VDC では外壁となる石の積み上げ、木製の窓枠・ドア枠の設置を終え、残り 2 ヶ所の VDC では土台部分の建設を終え、外壁の石の積み上げを行なっている状態である。</p> <p>公共保健機関のキャパシティビルディングとして、郡リプロダクティブヘルス委員会向けのリーダーシップ研修、並びに VDC レベル保健医療施設マネジメント委員会向けのリーダーシップ研修を実施した。これらリーダ</p>

	<p>ーシップ研修の受講者は 131 名（2013 年 11 月現在）であった。</p> <p>望まない妊娠のリスク軽減・出産介助スキル向上のためのインプラント（避妊具）研修は、6 名の受講生が全課程を修了している。また、出産介助者研修は 12 名が既に研修を終えている。</p> <p>② これまでの事業を通じての課題・問題点</p> <p>1 期目、2 期目ともに雨期により、土砂崩れ、落石が起こり道路アクセスの困難を受け、事業進捗に問題を起こしている。特に、2 期目は雨期が例年より早く始まり、5 月中旬から 9 月初旬にかけてスルケット郡からカリコット郡へ続く道路で土砂崩れや道の崩落、川の氾濫が多発した。これにより建設資材の運搬に加え事業スタッフの移動にも支障が生じた。今年だけでカリコット郡内では 10 名以上が道路にまつわる事故により亡くなっており、中にはカリコット郡で活動する他 NGO のスタッフも含まれている。</p> <p>③ 上記②に対する今後の対応策</p> <p>本事業のスタッフに対しては安全確保を第一とさせ、雨期の移動を最小限に留めるとともに降雨時には原則として移動を控えるよう指示をしている。また、1 期目は 1 か月、2 期目は 1.5 カ月の事業延長を行なっている。</p>
<p>8. 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>行政及び国際機関による満足な援助が届きにくい中西部において、助産技術を持った医療従事者が立ち会い出産処置を行なうお産センターを建設することで、村落部において安全な出産を行える環境が整う。また、各郡の郡庁所在地などに建設されている郡病院にソーラーパネルを設置することで、新生児に必要な予防接種のためのワクチンが保管できるようになるほか、夜のお産や救急患者にも対応できるようにする。直接裨益者は各郡の出産可能年齢にある女性となり、間接裨益者はこれらの女性と家族を含む住民となる（間接裨益者の算出においては、ひと家族が 5.5 名で構成されていると推定し、妊婦数×5.5 で計算する）。ジャジャルコット郡の直接裨益者は推計 4,421 名であり、間接裨益者は 24,315 名である。</p> <p>医療サービスを提供する医療従事者や助産師を対象としたトレーニングでは、1) 病気の認識、2) 病気になった時の対処方法、3) 治療へのアクセス の 3 点による健康改善を啓発する。これらを実施することで、妊産婦自らが健康管理、産前産後検診及び新生児ケアを適切に行えるようになる。また、トレーニング受講者が妊産婦・新生児検診、周産期ケアなどに関する知識を得ることで新生児・小児・妊産婦死亡率を改善させ、疾病罹患率が減少することが期待される。</p> <p>また住民を対象としたラジオ放送や国際デーでのイベントといった保健啓発活動を通し、自らの健康に対する意識が芽生えることが期待される。これに伴い、よりよい医療サービスを求めて既存のサービスを改善・発展させる自発的な行動も期待される。</p> <p>効果を測る指標として、以下のように目標値を設定する。</p>

	目標	指標	指標データ入手手段	外部条件
上位目標	妊産婦・新生児の健康改善	妊産婦・新生児死亡率の2%改善	郡保健事務所の年次報告書	
プロジェクト目標	女性のリプロダクティブヘルスが問題視され、住民の意識が高まる	■施設出産の20%増加	■郡保健事務所の年次報告 ■事業モニタリング、評価レポート ■ベースライン、エンドライン調査レポート	ネパール政府のリプロダクティブヘルス計画と安全な母子保健計画が履行される
成果 1	お産センターが建設され、設備が整う	■事業で建設するお産センターの100%が有効利用される	■郡保健事務所の年次報告	ネパール政府の事業へのサポート
成果 2	医療施設の人材のキャパシティが向上する	■VDC で雇用している準看護師（1.5年の看護教育を受けている）のうち50%が出産助産師研修を受ける ■80%の保健医療施設マネジメント委員会が活発に会議に参加 ■各 VDC の予算のうち50%が保健医療施設マネジメント委員会に配分される	■郡保健事務所の年次報告 ■委員会議事録 ■事業モニタリング、評価レポート ■ベースライン、エンドライン調査レポート	郡開発委員会と郡開発区域が保健医療施設マネジメント委員会をサポートする
成果 3	望まない妊娠	■避妊率が	■郡保健事務	政府スタッフ

		が減少する	30%改善	所の年次報告	が研修に参加 をする
	成果 4	住民の保健に 対する意識が 向上する	<ul style="list-style-type: none"> ■妊産婦検診 4回受診率が 20%向上 ■新生児検診 受診率が30% 向上 	<p>郡保健事務所の年次報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業モニタ リング、評価 レポート ■ベースライ ン、エンドラ イン調査レポ ート 	事業で行われ る啓発活動に 住民が参加す る